

地域生活支援 体制づくりについて

天草地域自立支援協議会
令和3年7月27日（火）

1

障がい者の「自立支援」・「意思決定支援」

介護保険の「自立支援」、障がい福祉の「自立支援」って同じなのか？

●介護保険の「自立支援」：自らできることを増やし公的なサービスに依存することなく維持・改善を目指す。究極非該当を目指す。

●障がい福祉の「自立支援」：**たくさんの社会資源（公的・インフォーマル含めて）に依存することである。**

数少ない資源（少数派である障がいの方の）を奪って、自分でさせるのではなく、たくさんの社会資源とつながり **1つ1つの社会資源への依存度を少なくしていくこと**が自立支援である。

依存できる社会資源が少ないと「それ」に支配される。（乳児が親に支配されるように）自立支援を進めないと、権利侵害を受けやすくなる。

※当該障がい者が知らないところで、勝手に決まり勝手に進められていることが多々ある。意思決定支援（当該者への説明・理解・合理的配慮）が重要。

2

「地域で暮らすこと！」「生活の安心感！」の体制づくり

【国が示す体制づくりの留意点】

- 支援を行う者の協力体制の確保と連携（自立支援協議会のメンバー含めて）が重要。
➡そのためには「地域の課題」に対する共通認識、目的の共有化は欠かせません。
- 「個別事例」の積み重ねから、地域に共通する課題を捉えます。
➡支援者の抱え込み、1支援者の頑張りで支えるのではなく、ケース会議をとおして多くの支援者（資源）等で役割分担を行い、それでも難しい場合は『地域の課題』として自立支援協議会等で検討します。
- 5つの機能の実施状況を定期的に把握します。
➡必要な機能は適切に実施されているかどうか把握します。
- 各制度との連携は欠かせません。
➡地域で暮らすためには障がい福祉の施策だけでは救えません。

3

地域の課題の把握がまだ不十分です。

【支援者である皆さんへのお願い】

- 市町の委託障がい者相談支援事業所、天草市地域障がい相談支援センターへ地域の課題をお知らせください。
➡地域の支援者である皆さんが地域の障がい者の支援を通して感じる課題をそのままにせず、まずは自立支援協議会で集約し、できることを考えていきましょう。
- 個別事例の検討会等への積極的な参加をお願いします。
➡地域生活で安心できずに困っている障がい者に対して、地域で情報を共有し、支援者で役割分担を行う検討会等を実施するときには、お声かけをしますので参加をお願いします！

4